

ただ、厚生労働省の調査(09年度)では、働きながら3676人のうち、93%を取得していなかったとして「制度を知らない(18%)」、「有給休暇など(18%)」、「収入が足りない(17%)」などが挙げられている。また、「収入が足りない(17%)」などがある。はちよつと……」と言ったそうです。

夫の孫の一人が昨年、幼くして病死しました。私も入院中いろいろと協力したつもりでしたが、葬儀や法要に参列させてもらえませんでした。距離が縮まらず、寂しいです。こんな状態で夫に何かがあった時、どうすればいいのでしょうか。不安です。

私にも前夫との間に2人の娘がおりますが、共に今の夫と良い関係です。

(兵庫・S子)

大日向 雅美

(大学教授)

死別です。わだかまりが少なくないといえ、両者がよく心の整理をつけてくださっているでしょう。

こうしてみると、今のあなたが置かれている状況は、周囲の配慮あつてのことと思われまゝ。夫の娘さ

たちがと一気に距離を縮めようと焦るのは禁物です。夫にもしものことがあつた時の不安もわからなくは

りませんが、再婚してまだ2年。今それを口にするのは、いらぬ誤解を招きかねません。性急に見返りを求めず、あなたなりの誠意を尽くしながら、ほどほどの幸せに感謝することが、その幸せを確かにする道かと思ひます。

堂。東京大日は食中毒オキシソル質などを中

◇フォーラム「日本の食の安全を考える」 20、21日(午前10時~午後5時半)、東京都文京区の東京大学農学部弥生講



み重ねている全国9地域の試みを紹介している。多彩な実践例から、田舎の可能性を感じ取ることができる。

所や、若者を農業研修で受け入れて独立させる農家のグループ——。町おこしに詳しい著者が、地に足をつけた小さな工夫を積

◇「幸福な田舎のつくりかた」(金丸弘美著、学芸出版社、1800円税別) 地元の物を売るため自動販売機を置かない産地直売

